

美川っ子

H30.12.20 文責 岡田 憲明



1948年（昭和23年）12月10日、国連総会で「世界人権宣言」が採択されたのを記念し、1950年（昭和25年）の国連総会で12月10日を人権デーと定めるとともに、全ての加盟国に実施を呼びかけました。

日本では世界人権宣言採択の翌年の1949年（昭和24年）、法務省と全国人権擁護委員連合会が、12月4～10日までの一週間を「人権週間」と決めました。

12月10日は、日本だけでなく世界の色々なところでも「人権」について考える日になっています。

「人権」とは、一人ひとりが生まれた時から持っている「自分らしく生きる」権利のこと。権利というと少し難しく聞こえますが、すべての人が、生まれたときから「自分らしく生きて良いですよ」と保障されているということです。人は、ひとりひとり違って、全部が同じ人なんて誰もいません。

一人ひとりの違いを認めたり、自分やお友だちの良いところを見つけたりして、それぞれが大切な存在であることを知る、大切な一週間です。

本校でも・・・

みかわ 人権集会



本校でも、12月4日から始まる人権週間、12月10日の世界人権デーに合わせて、12月5日（木）に「みかわ 人権集会」を行いました。自分自身や友達を大切に、互いの人権を尊重しながら、互いに協力して仲よく生活していこうという意欲を高めるために実施するものです。生活美化委員会と6年生が中心になって、集会を進めました。中村晴和さんのはじめの挨拶に続いて、全校で美川小学校人権宣言を読み上げました。

【美川小学校人権宣言】

- わたしたちは、自分や友だちを大切にします
- わたしたちは、人を傷つける言葉や行動を許しません
- わたしたちは、一人一人のよさやちがいを認め合い、助け合っ
てなかよくします
- わたしたちは、明るい夢や希望をもって、たくましく歩んで
いきます
- わたしたちは、すべての命を大切にします

次に、浜田人権擁護委員協議会主催の管内小学生人権標語コン

テストで入選した2作品についての発表があり、それぞれの作品を、作者が読み上げ、全員で復唱しました。

その後「ふれあい活動」で、言葉の文字数に



- 「いいのかな 人を助けず 立ち去って」
6年 高橋 岳洋
- 「あいさつは 人を動かす エネルギー」
5年 寺杣 心

※ この2作品については、令和2年度「小学生人権標語カレンダー」に掲載されます。おめでとうございます。



あわせて班で分かれるゲームをしました。文字数を指折り数えながら、グループを作っていました。声を掛け合ったり、譲り合ったりしながら上手にグループ分けができていました。

（人数がどうしても足りないときには、教員に入ってもらって補っていました）。ニコニコ笑顔いっぱいの楽しい雰囲気の中進められました。



最後はビデオフォーラムということで、「ごめんねともだち」（内田麟太郎作、降矢なな絵）のビデオを視聴後、班に分かれて感想を発表しました。子どもたちは、目を輝かせながら「ごめんねともだち」の世界に引き込まれていきました。キツネとオオカミが互いに素直になれず、けんかをしたあとの仲直りができずにいましたが、子どもたちも共感的にお話の中に入り込んだようでした。



そして、最後には、キツネとオオカミが互いに謝って仲直りできたことを喜び、安心したようでした。



この日は学校評議員の藤井さんにもお越しいただき、高学年と一緒に給食を食べていただいたり、授業の様子も見ていただいたりしました。人権集会の様子も見ていただいて、「これからの子どもたちには、こういう集会は必要なことですね。落ち着いて活動できていますね。」とお話ししていただきました。



ビデオフォーラムの「ごめんねともだち」を観て、自分自身をふりかえった人たちがたくさんいました。「友だちとなかよくしたい」「自分もごめんとなかよくしたい」「意地をはって相手に嫌な思いをさせないようにしたい」など、生活をふりかえることができていました。感じたことをもとに、「行動すること」を目指してほしいと思います。



劇団あしびえ公演

12月3日（火）劇団あしびえの公演がありました。会場は三隅



小学校の体育館でした。美川小だけではなく、岡見小、三隅小も一堂に会して劇を鑑賞しました。

演目は原作が宮沢賢治の、『セロ弾きのゴーシュ』でした。金星音楽団でセロを弾くゴーシュでしたが、上手に演奏することができません。猛練習をしますが、なかなか成果は出ません。ゴーシュの小屋を訪れる動物たちに八つ当たり



りもしてしまうゴーシュでしたが、訪れた動物たちから教えられて演奏が上達していきます。



子どもたちは、教科書や図書館の図書などでも宮沢賢治の作品に親しんでいます。どの作品でも読後に言いようのない悲しさに触れたり、「うーん」と考えさせられたりします。

公演された劇からもそれは伝わったようで、子どもたちは本物の劇団の劇に触れていろいろなことに感動をしていました。「本物の楽器はないのにまるで、本当に演奏しているようだった」、「タヌキの子どもがかわかった」、「ゴーシュが最後には、すばらしい演奏ができるようになってよかった」・・・等々たくさんの感想をもっていました。

特に子ども向けの劇の公演などは、浜田市ではなかなかありません。こういった機会に、演劇のプロの集団の本物の公演に触れることができたことに感謝です。劇団あしびえの皆さん、お世話をしてくださった三隅小の皆さん、本当にありがとうございました。

子どもたちは、毎週火曜日と木曜日の業間に「業間マラソン」を走っています。それぞれのペースで走っているのですが、すごいスピードで走っている子どももたくさんいます。音楽に合わせて走り、音

マラソン記録会



12月6日（金）に実施予定だった、マラソン記録会が荒天のため延期となり、12月13日（金）に行われました。今回は延期したために、中学生と一緒に走ることにはできませんでしたが、小学生同士、互いに応援をしながら記録会を行いました。



子どもたちは、毎週火曜日と木曜日の業間に「業間マラソン」を走っています。それぞれのペースで走っているのですが、すごいスピードで走っている子どももたくさんいます。音楽に合わせて走り、音

楽が終わったら走り終わるのですが、区切りのよいところまで継続して走る子どももたくさんです。個人でマラソンカードを持っていて記録をしています。また、体育の授業でもマラソン記録会に向けて練習を続けてきました。



何事も「継続は力なり」です。子どもたちの日々の努力が、当日のマラソン記録会でのよい走りにつながっているのだと思います。



特に長い距離は、練習をした分だけ強くなる場所があります。子どもたちの力強い走りを見ながら、日頃の頑張りが目に見える形で現れてきているのを感じました。

また、保健体育委員会を中心とした高学年が、「はじめの会」「終わりの会」など運営にも関わり、テキパキと進めることができていました。高学年として学校全体を動かす力が身につけてきていることを感じ、とてもうれしく思いました。

1月の主な行事

- 1日（水）元旦
- 8日（水）始業式
- 10日（金）委員会⑥
- 12日（日）浜田市駅伝競走大会（ちびっ子駅伝会場）
- 13日（月）成人の日
- 15日（水）書き初め会、全校テスト（国語）
- 16日（木）外国語活動（支援員）
- 17日（金）クラブ⑥
- 21日（火）参観日（性に関する指導
・プログラミング教育）
- 23日（木）外国語活動（ALT）
- 24日（金）全島根小中学校図画作品展前半展（子ども美術館）～29日
委員会⑥
- 28日（火）美川っ子まつり、ラブック号
- 29日（水）全校集団下校（15：00）
- 30日（木）全校テスト（算数）、SC訪問日、外国語活動（支援員）、全島根小中学校図画作品展後半展（子ども美術館）～2/5まで
- 31日（金）クラブ⑥

